

報道関係各位
企画展（第2期）のご案内

個性きらめく 富山の女性作家たち展



2022年3月30日(水)～6月6日(月)

開館時間／9:30～18:00(観覧受付は17:30まで)

休館日／毎週火曜日、5月6日(金) ※5月3日(火・祝)は開館

観覧料／一般400円(320円)、大学生200円(160円)

※()内は20人以上の団体料金。企画展観覧券で常設展もご覧いただけます。

※次の方は、常設展・企画展ともに無料で観覧できます。小・中・高校生及びこれに準ずる方、各種障害者手帳をお持ちの方。

主催／高志の国文学館 共催／北日本新聞社、チューリップテレビ

MAKE
TOYAMA
STYLE
BEYOND CORONA, WITH US

高志の国
文学館
KOSHINOKUNI
Museum of Literature



広報に関するお問い合わせ：高志の国文学館 事業課 谷口・高瀬・綿引
〒930-0095 富山県富山市舟橋南町 2-22 TEL 076-431-5492 / FAX 076-431-5490

Summary

近代から現代にいたるまで、富山ではさまざまな個性を持った女性作家たちがユニークな女性文学史を形成してきました。本展は会期を第1期（1/16～3/21）・第2期（3/30～6/6）に分け、富山の女性作家たちが作りあげてきた豊かな文学世界を紹介します。

第1期「時代を切り開く」では、女性の社会進出が十分に進んでいなかった明治・大正・昭和初期の時代から、富山の女性文学発展の礎を築く先駆的な活躍をした作家たちを取りあげました。

第2期「多彩な活動の展開」では、昭和・平成を中心に幅広いジャンルの作品を発表し、富山の文学界を牽引してきた女性作家たちを取りあげます。

本展を通じて、ふるさとの風土を背景に、自分らしく生きるために歌い、書き続けた女性作家たちの活躍に改めて光をあて、彼女たちが描き出した個性的な作品世界へといざなう機会となれば幸いです。

《第2期に紹介する主な作家》遠藤和子、木崎さと子、野村玉枝、辺見じゅん

あわせて回廊コーナーでは、「今をはばたく富山の女性作家たち」と題して、新たな作品世界を生み出し続けているゆかりの作家たちについても紹介します。

Profile

個性きらめく富山の女性作家たち展

第2期 多彩な活動の展開

遠藤和子（えんどう・かずこ） ノンフィクション・児童文学
富山市上り立町（現向川原町）生まれ。大正14年—（1925—）

木崎さと子（きざき・さとこ） 小説・随筆
旧満洲新京市（現中国長春市）生まれ。父親の赴任に伴い、高岡市立定塚小学校5年から高岡高校卒業まで8年間を高岡市で過ごす。昭和14年—（1939—）

野村玉枝（のむら・たまえ） 短歌・随筆
西礪波郡東太美村（現南砺市福光町）生まれ。明治44年—平成20年（1911—2008）

辺見じゅん（へんみ・じゅん） 短歌・ノンフィクション・随筆
中新川郡水橋町（現富山市）生まれ。昭和14年—平成23年（1939—2011）

*「第1期 時代を切り開く」（1月16日（日）～3月21日（月））では、小寺菊子、富本一枝、澤田はぎ女、方等みゆきについて紹介いたしました。

Outline

展覧会名	個性きらめく富山の女性作家たち 展（第2期）
会 期	2022年（令和4）3月30日（水）～6月6日（月）
会 場	高志の国文学館 〒930-0095 富山県富山市舟橋南町2-22 TEL 076-431-5492 / FAX 076-431-5490 https://www.koshibun.jp/
開館時間	9：30～18：00（観覧受付は17：30まで）
休 館 日	毎週火曜日、5月6日（金）※5月3日（火・祝）は開館
観 覧 料	一般400円（320円）、大学生200円（160円）、一般前売り320円 ※（ ）内は20人以上の団体料金。企画展観覧券で常設展もご覧いただけます。 ※小・中・高校生及びこれに準ずる方、各種障害者手帳をお持ちの方は無料
主 催	高志の国文学館 共 催 北日本新聞社、チューリップテレビ

展覧会担当 高志の国文学館事業課 主任 綿引 香織（わたひき・かおり）
主任 亀島麻衣子（かめしま・まいこ）

Theme

個性きらめく富山の女性作家たち展 第2期 多彩な活動の展開

自分らしく生きるために歌い、書き続けた4人の作家たち
—昭和から平成にかけて、多彩なジャンルで個性的な作品を発表し続ける女性作家たち

えんどうかずこ
遠藤和子 ふるさと富山の物語を次世代につなぐ

きざき
木崎さと子 人間の生と死を見つめ、愛の本質を追求

のむらたまえ
野村玉枝 戦中・戦後を歌とともに歩む

へんみ
辺見じゅん 風土の記憶と日本人の命の声を語り継ぐ

回廊コーナー展示

第2期「今をはばたく富山の女性作家たち」と題して、恩田陸、高山羽根子、山内マリコ、小谷真理、坂東眞理子、室井滋のほか、村木美涼、大垣さなゑ、杉本りえ、廣川まさき、栗林佐知、やまとけいこ、霜月りつの意欲的な作品を発表し続けている、話題の作家たちとその作品を作家自身のメッセージを添えて紹介します。

Topics

1 「多彩な活動を展開」した富山の4人の女性作家を紹介する第2期

第1期は黎明期に先駆者として奮闘した女性作家、小寺菊子（小説・随筆）、富本一枝（随筆・童話）、澤田はぎ女（俳句）、方等みゆき（詩）を紹介しました。第2期では、昭和、平成を中心に幅広いジャンルの作品を発表し、富山の文学界を牽引してきた女性作家、遠藤和子（ノンフィクション・児童文学）、野村玉枝（短歌・随筆）、木崎さと子（小説・随筆）、辺見じゅん（短歌・ノンフィクション）を紹介します。第1期の女性作家たちが切り開いた富山文学を引き継ぎ、発展させ、開花させた作家たちの企画展です。遠藤和子の取材・構想ノート、木崎さと子の『裸足』の最終稿までたどれる草稿、辺見じゅんの取材資料などからは作家の創作の舞台裏が垣間見え、興味が尽きません。遠藤和子コーナー、辺見じゅんコーナーの紹介映像、野村玉枝、辺見じゅんの短歌の解説など、わかりやすい展示にも配慮いたしました。

2 待望久しい女性作家たちの企画展、初公開の資料を多数展示。

教育現場から生まれた作品から出発し、郷土の歴史・文化・産業に目を向け、佐々成政ブームの立役者として活躍した遠藤和子。富山県を舞台とした『青桐』で芥川賞を受賞し、その後も複雑な人間の心を見つめ、生と死、愛と信仰の物語を紡ぐ小説を著す木崎さと子。

佐佐木信綱に直接指導を受け、大きな反響を呼んだ歌集『雪華』(ゆきばな)、ベストセラーとなった歌文集『御羽車』(おはぐるま)を発表し、戦後は歌壇の選者を務めて女性歌人の育成に尽力するなど、短歌で自らの想いや人生を表現した野村玉枝。3人の作家の企画展は本展が初めてで、大半の資料が初公開です。

『闇の祝祭』などの歌集に自身の想いを詠み込み、丹念な取材を重ねた『男たちの大和』などのノンフィクション作品で戦争で亡くなった人々への追悼の思いを描き、『花子のくのにの歳時記』ではふるさと富山への想いを綴った辺見じゅん。シベリアの強制収容所でも最後まで自らの信念を貫いた一人の人物を鮮明を描いた『収容所(ラーゲリ)から来た遺書』は、今年の冬、二宮和也主演で映画化が決定しました。公開に先駆けていち早く映画「ラーゲリより愛を込めて」の情報をお伝えします。

3 活躍中の“富山の女性作家たちの今”を伝える回廊コーナー展示

『蜜蜂と遠雷』で直木賞を受賞した恩田陸、『首里の馬』で芥川賞を受賞した高山羽根子、『ここは退屈迎えに来て』などで若い世代の圧倒的な支持を得る山内マリコ、日本SF大賞を受賞した小谷真理、『女性の品格』がベストセラーとなった坂東眞理子、『キトキトの魚』などのエッセイや絵本でも活躍する女優の室井滋ほか、村木美涼、大垣さなゑ、杉本りえ、廣川まさき、栗林佐知、やまとけいこ、霜月りつの「今をはばたく富山の女性作家たち」を、作家自身から寄せられたメッセージを添えて紹介します。

本コーナーが、富山県ゆかりの作家たちの現在の活躍を知っていただくと同時に、より親しみを持って企画展を見ていただく一助となれば幸いです。

Events

新型コロナウイルスの感染状況によっては、定員の変更、延期、中止の可能性があります。

【第2期】

(1) 講演「木崎さと子の文学 ―生命・宗教・富山―」

[講 師] 水野真理子氏 (富山大学 学術研究部教養教育学系 准教授)

[日 時] 4月24日(日) 14:00~15:30

[会 場] 当館研修室 101

申込必要/参加無料 ◎定員 54名

(2) 講演「辺見じゅんの文芸の形―本を書く・本を作る―」

[講 師] 畠山満喜子氏 (「萩の会」 主宰、富山県歌人連盟理事)

[日 時] 5月21日(土) 14:00~15:30

[会 場] 当館研修室 101

申込必要/参加無料 ◎定員 54名

(3) インタビュー映像上映会

① 遠藤和子「ふるさとに学ぶ」(41分/高志の国文学館制作、2021年)

② 辺見じゅん「ふるさとの風土～記憶の原型～」(28分)

③ 木崎さと子「家とふるさと～癒される心～」(28分)

※②③の映像は、県民カレッジテレビ放送講座「言葉の彼方に 作家が語る富山の文学」のシリーズ(富山県民生涯学習カレッジ企画、北日本放送制作、2003年)

[日 時] ①4月16日(土) ②5月14日(土) ③5月28日(土)

申込必要/参加無料 ◎定員 54名

※上映会后、担当学芸員による展示解説(スライド・ビュー)を行います。30分程度/参加自由)

■ 申込方法

電話・FAXにて、イベント名(複数可)と氏名、電話番号を当館までお知らせください。

※定員に達し次第、募集を終了します。

※FAXでお申し込みの方には、定員に達してご参加いただけない場合のみ、当館からご連絡いたします。

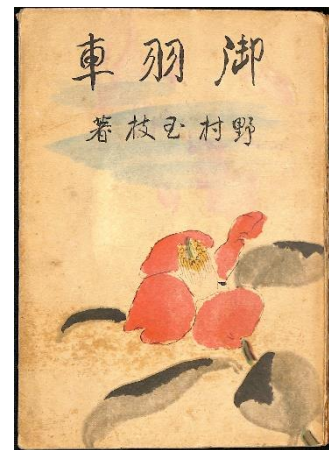
Images



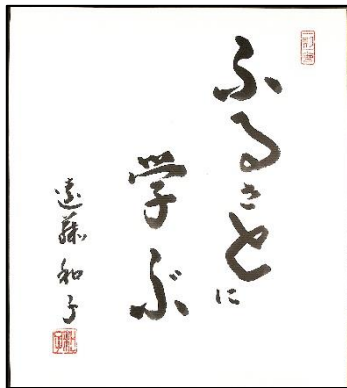
1 展覧会ポスター



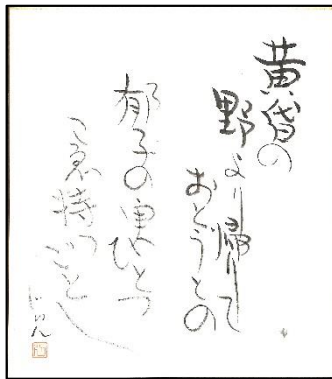
2 展覧会チラシ（第2期）



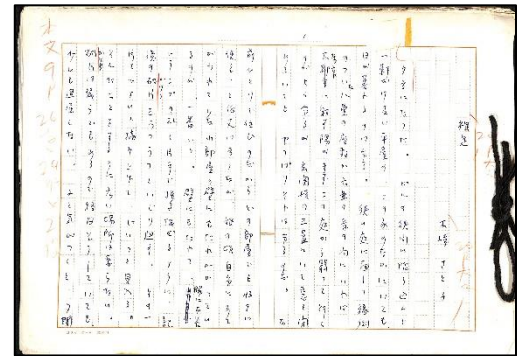
3 野村玉枝「御羽車」1942年
高志の国文学館蔵



4 遠藤和子色紙「ふるさとに学ぶ」
高志の国文学館蔵



5 辺見じゅん色紙「黄昏の」
高志の国文学館蔵



6 木崎さと子原稿「裸足」
個人蔵



7 回廊コーナー展示（チラシ）

高志の国文学館企画展

「個性きらめく富山の女性作家たち 展」
広報用画像貸出申請書

高志の国文学館事業課 広報担当 行
FAX 076-431-5490
akoshinokuni@pref.toyama.lg.jp

展覧会広報用の画像を貸出しております。ご希望の際は、下記の貸出条件をご確認のうえ、本書に必要事項をご記入いただき、FAX または E-mail にてお申込ください。E-mail の添付にて JPEG データで画像をお送りいたします。

【広報用画像貸出条件】

- ◎画像は展覧会紹介の目的のみにてご使用ください。
- ◎画像のトリミングや、画像に文字を重ねるレイアウトはお控えください。
- ◎画像データは、ご使用後かならず破棄してください。
- ◎画像データを第三者に渡すことを禁じます。
- ◎所蔵者名を明記してください。
- ◎インターネット上で掲載する際には、画像をコピーできないよう処置してください。

御社名 : _____

御担当者名 : _____

E-mail アドレス : _____

電話 : _____ FAX : _____

掲載誌名・番組名・Web サイト名 : _____

発行・放映・掲載予定日 : _____

申込画像（ご希望の画像をチェックしてください。）

- 画像 1 展覧会ポスター
- 画像 2 展覧会チラシ（第2期）
- 画像 3 野村玉枝「御羽車」1942年
- 画像 4 遠藤和子色紙「ふるさとに学ぶ」
- 画像 5 辺見じゅん色紙「黄昏の」
- 画像 6 木崎さと子原稿「裸足」
- 画像 7 回廊コーナー展示チラシ

高志の国文学館蔵
高志の国文学館蔵
高志の国文学館蔵
個人蔵

◎画像3～6をご使用の際は、それぞれの所蔵者名または著作権者名が分かるように、赤字でお示しした部分を必ず明記願います。